

おともがわ

学校報 NO, 46

保護者版

平成29年 2月10日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

第17回子どもと家族の健全育成ペア標語

大仙・美郷地区の児童生徒及びその家族の方々の作品(小学校低学年の部701点, 小学校高学年の部1122点, 中学校の部724点)の中から本校の3組が選ばれました(各部の優秀賞1組, 優良賞3組, 佳作6組)。授賞式には、〇〇親子が案内を頂き、代表で出席してもらいます。

小学校高学年の部

優秀賞 ○○○○(5年)・○○○○

見てないで はっきり言おうよ「だめだよ!!」と
大事だね “No” を “Noだ” という勇氣

佳作 ○○○○(1年)・○○○○

○○○○(2年)・○○○○○

おめでとうございます。

※あいさつで ぼくのこころは ぼっかぼか(○○) あいさつは 心なごます まほうのアイテム(○○)

ついてくる やさしいことばは あぶないよ(○○) おもいだせ いかのおすしの あいことば (○○○)

2冊の本と同時に出会って

火曜日の朝、6年生への読み聞かせがあり、以下の本

----- 「ありがとうの約束」 出版社からの内容紹介の一部 -----

「ありがとうっていつてごらん」おじいさんは優しくいいました。
失敗した時、悲しくなった時、そんなときには、おまじないの
ように「ありがとう」と言ってみる。不思議な言霊(ことだま)に、
自分も周囲も癒やされる。感謝はめぐる。そんな絵本です。



と出会い、作者(人気プロデューサー)が「娘さんが大きくなった時に世界が「ありがとう」であふれていることを願いながら」初めて絵本を創り上げたことを知り感動しました。そして偶然に読み聞かせの前に、本校職員から「鏡の法則」という本を紹介頂いていたのでした。

この本は、前段は実話をもとにした感動的な物語でした。後半は、何故このような展開になったのかについての解説とあとがきが記載されていました。本の題名にもなっている「鏡の法則」とは以下にあるようなことでした。

私たちの人生における現実には、まるで鏡のように、私たちの心を映し出している。(心の中で、不満ばかり抱いていると、その心を映し出すように、ますます不満を言いたくなるような人生になる。逆に、感謝することが多いと、さらに感謝したくなるような出来事が起きて、感謝にあふれた人生になる。)

私だけでしょうか? この法則は、「「ありがとう」の言葉で自他共に癒やされ、感謝がめぐる」にぴったりと当てはまるように思えるのです。更に、「人生においては、自分の心の波長にあった出来事が起きている。故に、自らの人生に起きていることを見ることによって、自分の心のありようを推察することができ、それによって、自らを変えるヒントを探っていける」とありました。同時に2冊の本に出会わせてくれた図書ボランティアさんと本校職員に感謝至極です。



2ヶ月後には新入生ですね!!



先週水曜日、6年生と保護者が農業科学館(インフルエンザが流行していた大曲西中の配慮による)で行われた「入学者のための説明会」に参加してきました(上写真: 幾分緊張気味の6年生が印象的でした)。

そして昨日は、本校を会場に来年度入学する児童の保護者を対象に説明会を開催しました(左写真)。説明後にいくつかの質問も出され有意義な会となったようです。